

必修問題

目標Ⅰ 健康および看護における社会的・倫理的側面について基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
1 健康の定義と理解	A 健康の定義	2	世界保健機関<WHO>の定義	1	健康と社会・生活 5章1節 健康とは：WHOの健康の定義 (p.90) 公衆衛生 18章2節2項 plus α「WHOによる健康の定義」(p.342) 看護学概論 3章1節5項 WHOの健康の定義 (p.97) 臨床看護総論 1章2節3項 健康の意味を正しくとらえる (p.12-13)
			ウェルネスの概念	1	看護学概論 3章1節6項 ウェルネス(安寧) (p.98) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 1章2節3項 ウェルネス (p.23-24) 母性看護の実践 1章2節 用語解説「ウェルネス」(p.30)
	B 健康に関する指標	25	総人口	1	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.16) 社会福祉と社会保障 5章3節1項 高齢者保健福祉施策の社会的背景 (p.174-175) 高齢者の健康と障害 1章1節3項 人口の高齢化 (p.23-25)
			年齢別人口	4	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.16) 社会福祉と社会保障 5章3節1項 高齢者保健福祉施策の社会的背景 (p.174-175) 高齢者の健康と障害 1章1節3項 人口の高齢化 (p.23-25)
			労働人口	1	健康と社会・生活 8章3節1項 子育てと家族 (p.138-140) 公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.19)
			将来推計人口	1	健康と社会・生活 8章2節1項 少子高齢化の進行 (p.135-137) 公衆衛生 7章1節2項 図7-1「年齢3区分別人口構成割合の推移」(p.172) 社会福祉と社会保障 5章3節1項 高齢者保健福祉施策の社会的背景 (p.174-175)
			世帯数	3	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.17) 社会福祉と社会保障 5章1節3項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.137-138), 3節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.184) 成人看護学概論 2章2節1項 家族における役割 (p.41-42) 高齢者の健康と障害 2章1節2項 高齢者がいる家族 (p.83-86) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 3章2節1項 世帯に関する統計 (p.57-58)
			婚姻、家族形態	1	健康と社会・生活 8章2節 変容する社会と家族 (p.135-138) 公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.17) 社会福祉と社会保障 5章1節3項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.136-138) 成人看護学概論 2章2節1項 家族における役割 (p.41-43) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 3章1節3項 婚姻・離婚に関する統計 (p.57), 2節1項 世帯に関する統計 (p.57-58)
			出生と死亡の動向	5	健康と社会・生活 8章2節1項 少子高齢化の進行 (p.135-137) / 10章5節1項 世界の人口動態 (p.184-185) 公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.16) / 3章6節1項 既存資料の利用 (p.92-97) 社会福祉と社会保障 5章1節3項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.135-136) 看護学概論 3章3節1項 人口統計と出生・死亡 (p.101-103) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 3章1節1項 出生に関する統計 (p.48-50), 2項 死亡に関する統計 (p.51-56)
			死因の概要	3	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.16) / 2章2節2項 日本の健康問題の現状と課題 (p.40-44) 看護学概論 4章2節 小児期から成人期の概念 (p.116, 118-119, 120-121), 3節1項 老年期 (p.121-122) 成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.44-48) / 7章1節 生活習慣に関連する健康課題 (p.152-159)

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所	
1 健康の定義と理解	B 健康に関する指標	25	死因の概要	3	高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.29-30)	
			平均余命、平均寿命、健康寿命	6	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.16) / 1章1節2項 どうしてこんなによくなったのか (p.26-27) / 2章2節2項 日本の健康問題の現状と課題 (p.40-42) 社会福祉と社会保障 5章3節1項 高齢者保健福祉施策の社会的背景 (p.173-174) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.25-26)	
	C 受療状況	10	有訴者の状況	3	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.20) 成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.44-50) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.26-27)	
			有病率、罹患率、受療率	4	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.20) / 2章2節2項 日本の健康問題の現状と課題 (p.44-45) / 3章1節2項 集団の特徴を表す方法 (健康指標) と使い方 (p.76-78) 成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.44-50) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.26-29)	
			外来受診の状況	2	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.20) 成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.44-50) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.26-29)	
			入院期間	1	公衆衛生 特設 看護者が知っておくべき統計 (p.20) 看護学概論 11章1節1項 看護の継続性とは (p.265) / 12章1節3項 質の高い看護ケアを行うために (p.286)	
	2 健康に影響する要因	A 生活行動・習慣	15	食事と栄養	4	基礎看護技術Ⅱ 5章1節 食事・栄養の意義 (p.148-149), 3節 食事と栄養に関する基礎知識 (p.154-162) 臨床栄養学 1章1節 臨床栄養学の意義と看護 (p.12-14) 看護学概論 3章4節1項 生活習慣 (p.105) 公衆衛生 6章2節 健康に影響を与える生活習慣 (p.158)
				排泄	0	基礎看護技術Ⅱ 6章1節 排尿・排便の意義 (p.176)
				活動と運動、レクリエーション	5	看護学概論 3章4節1項 生活習慣 (p.105-106) 基礎看護技術Ⅱ 7章1節 活動・運動の意義 (p.204) 公衆衛生 6章2節 健康に影響を与える生活習慣 (p.158-160)
				休息と睡眠	0	基礎看護技術Ⅱ 8章1節 休息・睡眠の意義 (p.240-241), 2節 休息・睡眠の生理学的メカニズム (p.241-247) 公衆衛生 6章2節 健康に影響を与える生活習慣 (p.159-160)
清潔と衣生活				0	基礎看護技術Ⅱ 9章1節 清潔の意義 (p.256-257)	
ライフスタイル				0	健康と社会・生活 2章5節 ライフスタイル・ライフコース・ライフステージ (p.51-54) / 7章2節 ライフスタイル・社会経済と健康格差 (p.127-129) 看護学概論 3章3節2項 ライフスタイル (p.103-104)	
ストレス				1	看護学概論 3章4節1項 生活習慣 (p.106-107)	
喫煙、嗜好品				4	公衆衛生 6章2節 健康に影響を与える生活習慣 (p.160-162) 看護学概論 3章4節1項 生活習慣 (p.106)	
B 生活環境		9	水質、大気、土壌	6	公衆衛生 15章2節1項 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染 (p.279-283), 4節 水道 (p.286-290)	
			食品衛生	1	公衆衛生 14章 食品保健 (p.265-273)	
			住環境	2	公衆衛生 15章5節 居住環境 (p.291-293) 在宅療養を支える技術 3章3節3項 居住環境のアセスメント (p.86-87), 4項 住環境整備 (p.87-88)	
C 社会環境		7	職業と健康障害	3	公衆衛生 17章3節 業務上疾病 (職業性疾病) (p.325-328) 成人看護学概論 8章2節 職業と健康障害 (p.169-178)	
			労働環境	3	健康と社会・生活 7章3節 働き方 (労働生活) と健康 (p.130-132) 公衆衛生 17章2節2項 労働衛生の5管理 (p.319-323) 成人看護学概論 8章2節2項 職業性疾病の予防と対応 (p.170-175)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保険制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論
在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
2 健康に影響する要因	C 社会環境	7	ワーク・ライフ・バランス	1	健康と社会・生活 8章4節4項 成人期 (p.145-146) 公衆衛生 17章4節3項 産業保健看護活動の特徴 (p.333) 成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.93-101) / 8章1節 ワーク・ライフ・バランスと健康障害の関連 (p.166-169)
3 看護で活用する社会保障	A 医療保険制度の基本	9	医療保険の種類	2	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.223) 看護をめぐる法と制度 5章1節1項 図5-1「医療保険制度の体系」(p.201) 地域療養を支えるケア 7章4節1項 制度の概要としくみ (p.186-188)
			国民医療費	2	社会福祉と社会保障 7章2節5項 国民医療費 (p.235-237) 看護学概論 10章5節2項 用語解説「国民医療費」(p.253) 地域療養を支えるケア 7章4節 医療保険制度 (p.186-188)
			高齢者医療制度	2	社会福祉と社会保障 7章2節4項 高齢者医療制度 (p.233-235) 看護をめぐる法と制度 5章1節3項 高齢者医療確保法 (p.208-210) 地域療養を支えるケア 7章4節1項 制度の概要としくみ (p.187-188) 高齢者の健康と障害 2章2節3項 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく制度 (p.99-102)
			給付の内容	3	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.227-231) 看護をめぐる法と制度 5章1節1項 健康保険法 (p.201-206), 2項 国民健康保険法 (p.206-207), 2項 コラム「独自の医療保険制度」(p.207), 3項 高齢者医療確保法 (p.208-210) 地域療養を支えるケア 7章4節2項 主な医療(サービス)給付 (p.189-190)
	B 介護保険制度の基本	10	保険者	1	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.239-240) 看護をめぐる法と制度 5章1節4項 介護保険法 (p.210-223) 地域療養を支えるケア 7章5節1項 制度の概要としくみ (p.191) 高齢者の健康と障害 2章2節4項 介護保険制度 (p.102)
			被保険者	2	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.240-241) 看護をめぐる法と制度 5章1節4項 介護保険法 (p.210-223) 地域療養を支えるケア 7章5節1項 制度の概要としくみ (p.191) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章3節2項 セルフケア再獲得を支援する法的システム (p.283-286) 高齢者の健康と障害 2章2節4項 介護保険制度 (p.102)
要介護・要支援の認定	2	給付の内容	2	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.244-247) 看護をめぐる法と制度 5章1節4項 介護保険法 (p.210-223) 地域療養を支えるケア 7章5節2項 介護予防サービス・介護サービスの給付手続き (p.192-196) 高齢者の健康と障害 2章2節4項 介護保険制度 (p.102-107)	
		要介護・要支援の認定	2	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.242-243) 看護をめぐる法と制度 5章1節4項 介護保険法 (p.210-223) 地域療養を支えるケア 7章5節2項 介護予防サービス・介護サービスの給付手続き (p.193-194) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 5章3節2項 セルフケア再獲得を支援する法的システム (p.283-286) 高齢者の健康と障害 2章2節4項 介護保険制度 (p.105)	
		地域支援事業	3	公衆衛生 7章2節1項 高齢者の保健医療福祉に関わる法律とその内容 (p.174) 社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.248-250) 看護をめぐる法と制度 5章1節4項 介護保険法 (p.210-223) 地域療養を支えるケア 1章2節1項 地域包括ケアシステムとは (p.26-29) / 7章5節2項 介護予防サービス・介護サービスの給付手続き (p.192-196) 高齢者の健康と障害 2章2節4項 介護保険制度 (p.106)	
		4 看護における倫理	A 基本的人権の擁護	5	個人の尊厳

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
4 看護における倫理	A 基本的人権の擁護	5	患者の権利	2	看護学概論 6章6節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準)(p.170-171) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則(p.63-69) 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理:医療者としての責務と患者の権利(p.157-158) リハビリテーション看護 5章2節3項 障害者の権利を守るには:障害者の権利擁護(p.115-116) 緩和ケア 11章1節 生命倫理とは(p.330-331)
			自己決定権と患者の意思	1	看護をめぐる法と制度 7章1項 医療行為における患者の同意と自己決定(p.324-325) 看護学概論 6章2節 看護倫理とは(p.153-154) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則(p.64-69) リハビリテーション看護 3章2節2項 社会生活の適応に向けた心理的支援(p.85-88)/4章1節2項 リハビリテーションにおける倫理的課題(p.108-109) 緩和ケア 11章3節 がん医療における意思決定(p.334-338)
			インフォームド・コンセント	1	看護学概論 6章4節1項 インフォームドコンセントにおける看護(p.157-158) 基礎看護技術I 1章4節4項 インフォームドコンセントと看護者の役割(p.47-49) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則(p.65-66), 2節1項 研究計画立案の段階(p.71-72) 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理:医療者としての責務と患者の権利(p.158) 看護をめぐる法と制度 7章 インフォームドコンセント(p.324-331) 緩和ケア 11章3節4項 意思決定のプロセス(p.335) 医療安全 1章1節2項 医療安全に関わる動向(p.16)
			ノーマライゼーション	0	健康危機状況/セルフケアの再獲得 4章3節1項 依存と自立の概念(p.224-225)/5章2節3項 社会生活レベルのセルフケア再獲得への支援(p.270-271) リハビリテーション看護 1章5節2項 ノーマライゼーション(p.34-36)
			情報管理(個人情報保護)	0	看護学概論 1章4節4項 指針・ガイドライン(p.40-41) 基礎看護技術II 3章1節3項 安全管理対策(p.88-89) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則(p.63), 1項 人を対象とする研究の倫理原則(p.68), 2節1項 研究計画立案の段階(p.73)/4章3節2項 plus α「個人情報」(p.107) 看護をめぐる法と制度 6章4節1項 個人情報保護法制(p.291-296)
	B 倫理原則	3	自律尊重	0	看護学概論 6章6節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準)(p.167) 地域療養を支えるケア 3章3節1項 看護倫理の概要と活用(p.76) リハビリテーション看護 1章5節6項 セルフケア(p.42)/4章1節2項 リハビリテーションにおける倫理的課題(p.108-109) 緩和ケア 11章2節2項 自律尊重の原則(p.332), 5節 事例:医師の指示による消極的安楽死(p.343-344) 看護管理 5章1節3項 道徳的行動モデルと組織ダイナミズムからの影響(p.163) 災害看護 1章2節2項 災害看護における倫理原則(p.25)
			善行	1	看護学概論 6章6節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準)(p.167) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則(p.62-63) 地域療養を支えるケア 3章3節1項 看護倫理の概要と活用(p.76) 緩和ケア 11章2節3項 善行の原則(p.332), 5節 事例:医師の指示による消極的安楽死(p.344) 看護管理 5章1節3項 道徳的行動モデルと組織ダイナミズムからの影響(p.163) 災害看護 1章2節2項 災害看護における倫理原則(p.23-24)
			公正、正義	1	看護学概論 6章6節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準)(p.167) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則(p.63) 看護をめぐる法と制度 9章1節2項 生命倫理の基本原則(p.344-347) 地域療養を支えるケア 3章3節1項 看護倫理の概要と活用(p.76) 緩和ケア 11章2節5項 正義の原則(p.333), 5節 事例:医師の指示による消極的安楽死(p.345)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論/地域在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
4 看護における倫理	B 倫理原則	3	公正、正義	1	看護管理 5章1節3項 道徳的行動モデルと組織ダイナミズムからの影響 (p.163) 災害看護 1章2節2項 災害看護における倫理原則 (p.24-25)
			誠実、忠誠	0	看護学概論 6章6節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.167-168) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則 (p.63) 地域療養を支えるケア 3章3節1項 看護倫理の概要と活用 (p.76) 災害看護 1章2節2項 災害看護における倫理原則 (p.25)
			無危害	1	看護学概論 6章6節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.167) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則 (p.63) 地域療養を支えるケア 3章3節1項 看護倫理の概要と活用 (p.76) 緩和ケア 11章2節4項 無危害の原則 (p.333), 5節 事例: 医師の指示による消極的安楽死 (p.344-345) 看護管理 5章1節3項 道徳的行動モデルと組織ダイナミズムからの影響 (p.163) 災害看護 1章2節2項 災害看護における倫理原則 (p.23-24)
	C 看護師等の役割	1	説明責任<アカウンタビリティ>	0	看護学概論 1章2節4項 エビデンスに基づく看護 (p.31-32) 基礎看護技術I 1章4節4項 インフォームドコンセントと看護師の役割 (p.47-49) 看護研究 3章1節1項 人を対象とする研究の倫理原則 (p.65-69) 看護をめぐる法と制度 7章 インフォームドコンセント (p.324-331)
			倫理的配慮	0	看護学概論 6章6節 倫理的課題への対応 (p.164-177), 7節 倫理的看護実践を行うために必要なこと (p.177-180) 看護研究 3章2節 研究の各段階における倫理的配慮 (p.70-75) / 6章1節3項 研究計画書の構成 (p.212) 看護をめぐる法と制度 9章1節2項 生命倫理の基本原則 (p.344-347) リハビリテーション看護 1章3節2項 リハビリテーション看護の専門的能力 (p.24)
			権利擁護<アドボカシー>	1	看護学概論 6章6節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.169) リハビリテーション看護 5章2節2項 障害者のアドボカシー (p.114) 災害看護 1章2節3項 看護実践上の倫理的概念 (p.26)
5 看護に関わる基本的法律	A 保健師助産師看護師法	10	保健師・助産師・看護師の定義	2	公衆衛生 2章3節4項 公衆衛生専門職の役割 (p.66-67) 看護をめぐる法と制度 3章1節1項 囲み「保助看法の条文を読んでみよう」 (p.65) 看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.217) 臨床看護総論 3章5節1項 看護師の業務とは: 法的側面から (p.145-147) 看護管理 10章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.289-293) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.26-29)
			保健師・助産師・看護師の業務	0	看護をめぐる法と制度 3章1節1項 保健師助産師看護師法 (p.62-87) 看護学概論 1章3節1項 plus a 「保健師の業務」「助産師の業務」 (p.34) / 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.219-221) 臨床看護総論 3章5節 看護師の業務 (p.145-151) 看護管理 10章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.289-293) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.26-29), 3項 看護業務の変遷と安全管理 (p.29-34)
			保健師・助産師・看護師の義務(守秘義務、業務従事者届出の義務、臨床研修等を受ける努力義務)	6	看護をめぐる法と制度 3章1節1項 保健師助産師看護師法 (p.62-87) 看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.219-221), 2項 主な関連法規 (p.221-222) 看護管理 10章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.289-293) 医療安全 1章2節 看護職の法的規定と医療安全 (p.24-36)
			養成制度	0	看護をめぐる法と制度 3章1節1項 保健師助産師看護師法 (p.62-87) 看護学概論 1章3節1項 看護教育制度 (p.33-34) 看護管理 10章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.289-293)

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
5 看護に関わる 基本的法律	B 看護師等の人材確保の促進 に関する法律	1	目的、基本方針	0	看護をめぐる法と制度 3章1節2項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.88-90) 看護管理 10章1節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.293-294)
			ナースセンター	1	看護をめぐる法と制度 3章1節2項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.88-90) 看護管理 10章1節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.293-294)

目標Ⅱ 看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
6 人間の特性	A 人間と欲求	5	基本的欲求	4	看護学概論 2章1節3項 動機付けられる存在 (ニードをもつ存在) (p.73-74) 基礎看護技術Ⅰ 3章1節 マズローの基本的欲求の階層図 (p.104-105) 臨床看護総論 3章7節1項 臨床看護を学ぶための理論 (p.160)
			社会的欲求	1	看護学概論 2章1節3項 動機付けられる存在 (ニードをもつ存在) (p.73-74) 臨床看護総論 3章7節1項 臨床看護を学ぶための理論 (p.160)
	B 対象の特性	7	QOL	3	看護学概論 6章3節2項 plus α 「QOL」 (p.156) 成人看護学概論 5章3節6項 Quality of Life (QOL) (p.120) リハビリテーション看護 1章5節1項 QOL: quality of life (p.33-34) 緩和ケア 1章1節2項 全人的苦痛 (トータルペイン) と QOL (生活の質) (p.21-22)
			健康や疾病に対する意識	1	看護学概論 2章3節2項 健康障害とその影響 (p.77-79) 成人看護学概論 5章3節 個人の健康観を理解する方法 (p.116-121), 4節 保健行動と健康観 (p.121-123) / 17章1節 ヘルスプロモーションとは (p.304-305) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 1章1節1項 成人にとっての健康とは (p.16-17) リハビリテーション看護 3章2節3項 健康維持のための支援 (p.88-95)
			疾病・障害・死の受容	3	看護学概論 2章3節2項 健康障害とその影響 (p.77-79), 3項 健康や病気に関する判断に影響する要因 (p.79-80) 基礎看護技術Ⅱ 16章3節 危篤・終末時の心理的変化 (p.476-477) 成人看護学概論 2章4節 成人と死 (p.50-54) リハビリテーション看護 1章5節5項 アダプテーション (適応) (p.40-41) / 3章2節2項 社会生活の適応に向けた心理的支援 (p.80-82) 緩和ケア 3章1節1項 がんに対する心の反応 (p.168-169)
			胎児期	3	形態的発達と異常
B 新生児・乳児期	11	発達の原則	3	小児の発達と看護 2章1節1項 成長・発達の一般的原則 (p.82-83) 基礎看護技術Ⅰ 6章2節1項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.351-354)	
		身体の発育	6	小児の発達と看護 2章2節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.83-86), 3項 機能的発達の特徴 (p.86-94) 基礎看護技術Ⅰ 6章2節2項 身体発育に関するアセスメント (p.354-357)	
		運動能力の発達	0	小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.90-92) 基礎看護技術Ⅰ 6章2節3項 乳幼児の精神・運動機能の発達評価方法 (p.358-359)	
		栄養	2	小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.95-97)	
7 人間のライフ サイクル各期 の特徴と生活	A 胎児期	3	形態的発達と異常	3	小児の疾患と看護 2章1節 先天異常とは (p.62-63) 母性看護の実践 2章2節3項 胎児の成長 (p.36-38) / 3章8節 妊娠期の感染症 (p.116-122) / 10章9節1項 糖尿病母体から出生した新生児 (p.341-342), 11節 先天異常がある新生児 (p.347-353) 病態生理学 1章1節1項 遺伝学の基礎 (p.24)
	B 新生児・乳児期	11	発達の原則	3	小児の発達と看護 2章1節1項 成長・発達の一般的原則 (p.82-83) 基礎看護技術Ⅰ 6章2節1項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.351-354)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論
在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
7 人間のライフ サイクル各期 の特徴と生活	B 新生児・乳児期	11	栄養	2	母性看護の実践 7章2節1項 母乳育児のメリット (p.253-255) 臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.110-115)
			親子関係	0	小児の発達と看護 1章5節4項 親子関係論 (p.70-73) / 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.99) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 1章1節2項 愛着理論 (p.15-16), 3項 ボンディングと親子相互作用 (p.16-17)
	C 幼児期	5	身体の発育	3	小児の発達と看護 2章3節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.106-107), 3項 機能的発達の特徴 (p.107-109) 基礎看護技術I 6章2節2項 身体発育に関するアセスメント (p.354-357)
			運動能力の発達	1	小児の発達と看護 2章3節4項 心理・社会的発達 (p.111-112), 6項 幼児期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.133-140)
			言語の発達	0	小児の発達と看護 2章3節4項 心理・社会的発達 (p.110-111)
			社会性の発達	1	小児の発達と看護 2章3節4項 心理・社会的発達 (p.110-113), 6項 幼児期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.137-140)
			基本的生活習慣の確立	0	小児の発達と看護 2章3節6項 幼児期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.122-140)
	D 学童期	4	運動能力の発達、 体力の特徴	1	小児の発達と看護 2章4節2項 身体的成長 (p.145-146), 3項 機能的発達 (p.149)
			社会性の発達	2	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.146-150)
			学習に基づく 行動	0	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.146-149)
	E 思春期	8	第二性徴	4	小児の発達と看護 2章5節2項 身体的成長 (p.162-164) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章5節 第二性徴 (p.147-150) 基礎看護技術I 6章1節1項 母性のアセスメントに必要な基礎知識 (p.344)
			アイデンティ ティの確立	1	小児の発達と看護 2章5節1項 思春期とは (p.161) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章5節3項 心理社会的特徴 (p.150)
			親からの自立	3	小児の発達と看護 2章5節3項 機能的発達 (p.165), 5項 思春期の人々のセルフケアの発達と看護 (p.173-176) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章5節3項 心理社会的特徴 (p.150)
			異性への関心	0	小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.172-173) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章4節2項 性的指向 (p.146-147), 5節3項 心理社会的特徴 (p.150)
	F 成人期	8	社会的責任と 役割	0	成人看護学概論 2章2節2項 社会における役割 (p.43-44)
			生殖機能の成 熟と衰退	3	概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章7節 性周期 (p.153-157) / 9章1節1項 身体的特徴 (p.218-219)
			基礎代謝の変化	3	臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.119-120)
G 老年期	7	身体的機能の 変化	6	高齢者の健康と障害 4章3節1項 身体機能の生理的変化 (p.217-229) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 9章3節 老年期女性の特徴 (p.228) 臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.126-129)	
		認知能力の変化	0	高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.66-68)	
		心理社会的変化	1	高齢者の健康と障害 1章5節3項 社会的機能の変化 (p.71-79) 成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.39-40)	
8 看護の対象と しての患者と 家族	A 家族の機能	6	家族関係	1	家族看護学 1章1節1項 家族についての考え方 (p.11-12) 成人看護学概論 2章2節1項 家族における役割 (p.41-43) / 4章2節2項 生活の場 (p.99-101) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.119-124) 地域療養を支えるケア 4章3節1項 家族とは (p.118-123) 緩和ケア 9章1節1項 ケアの対象者としての家族 (p.302)

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
8 看護の対象としての患者と家族	A 家族の機能	6	家族構成員	4	家族看護学 1章1節2項 現代の家族の特徴 (p.13-14) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.119-124) 地域療養を支えるケア 4章3節1項 家族とは (p.118-123)
			疾病が患者・家族に与える心理・社会的影響	1	家族看護学 1章1節3項 健康障害をもつ家族員を抱えた家族 (p.14-15) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章5節2項 家族についてのアセスメント方法 (p.124-131) リハビリテーション看護 3章2節4項 家族への援助 (p.96-102) 緩和ケア 4章1節2項 家族や友人との関係性の変容・喪失 (p.203-204)／9章2節 緩和ケアを受ける患者の家族が体験する問題 (p.303-305)
	B 家族形態の変化	2	家族の多様性	0	家族看護学 1章1節2項 現代の家族の特徴 (p.13-14) 健康と社会・生活 8章 家族と健康 (p.133-152) 地域療養を支えるケア 4章3節1項 家族とは (p.118-120)
			構成員の変化	2	家族看護学 1章1節2項 現代の家族の特徴 (p.13-14) 地域療養を支えるケア 4章3節1項 家族とは (p.118-122)
9 主な看護活動の場と看護の機能	A 看護活動の場と機能・役割	20	病院、診療所	7	看護学概論 12章1節1項 看護の提供の場 (p.276) 臨床看護総論 3章1節1項 看護活動の場 (p.102), 2項 病院内で配属される部署 (p.104-105)
			助産所	0	医療安全 2章2節2項 日本助産師会 (p.54-57)
			訪問看護ステーション	2	社会福祉と社会保障 3章3節1項 病院から退院し、自宅療養する場合の訪問看護の利用 (p.74) 看護をめぐる法と制度 5章1節4項 介護保険法 (p.210-223) 地域療養を支えるケア 5章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.140), 2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.145-152) 緩和ケア 1章3節2項 基本的緩和ケア (p.30), 3項 専門的緩和ケア (p.35-36) 看護管理 1章2節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律から今日まで (p.27-30)
			介護保険施設	2	社会福祉と社会保障 3章3節2項 社会福祉施設における看護職と介護職の協働 (p.75) 看護をめぐる法と制度 5章1節4項 介護保険法 (p.210-223) 臨床看護総論 3章1節1項 看護活動の場 (p.102) 地域療養を支えるケア 3章4節2項 医療施設や介護施設との連携 (p.87-89)／7章5節2項 介護予防サービス・介護サービスの給付手続き (p.192-196)
			地域包括支援センター	2	社会福祉と社会保障 3章3節3項 地域における看護職と福祉職を含んだ包括的支援としての連携 (p.79) 看護をめぐる法と制度 5章1節4項 介護保険法 (p.210-223) 看護学概論 10章4節1項 多職種で取り組む介護保険法に基づくサービス (p.248) 地域療養を支えるケア 2章3節2項 地域包括支援センター (p.60-61)／3章4節6項 地域包括支援センター (p.99-101)／7章5節3項 地域包括支援センター (p.196)
			市町村、保健所	3	看護をめぐる法と制度 6章1節4項 地域保健法 (p.270-271) 看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.240-242) 地域療養を支えるケア 2章3節3項 行政：保健所・市町村保健センター (p.62)／5章1節2項 訪問看護の制度と現状 (p.138-140)
			学校	0	公衆衛生 16章 学校保健 (p.297-312) 看護をめぐる法と制度 4章2節7項 学校保健安全法 (p.199-200) 臨床看護総論 3章1節1項 看護活動の場 (p.102)
			企業	0	公衆衛生 15章 産業保健 (p.313-335) 臨床看護総論 3章1節1項 看護活動の場 (p.102)
			チーム医療	3	看護学概論 10章3節 保健・医療・福祉のチーム (p.246)／11章2節2項 多職種連携・協働と看護師の役割 (p.271-273) 臨床看護総論 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108), 6節1項 多職種の連携と協働が必要なこと (p.153-154) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章3節1項 セルフケア再獲得を支援する人的システム (p.275-278)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論
地域在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
9 主な看護活動の場と看護の機能	A 看護活動の場と機能・役割	20	チーム医療	3	緩和ケア 図解 多職種連携で行う専門的緩和ケア (p.15-17) / 1章3節3項 専門的緩和ケア (p.32-35), 6節1項 チームアプローチ (p.48-51) 看護管理 5章2節5項 医療安全とチーム医療 (p.179-181), 3節1項 医療全体のサービスの質 (p.187) 医療安全 1章1節2項 医療安全に関わる動向 (p.18-19) / 4章 チームで取り組む安全文化の醸成 (p.123-137)
			退院調整	0	看護学概論 11章1節2項 退院支援・退院調整と看護の継続性を担う取り組み (p.266-269) 緩和ケア 7章2節 病院から在宅への退院支援 (p.261-266)

目標Ⅲ

看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	54	内部環境の恒常性	0	解剖生理学 序章3節 ホメオスタシス (恒常性) (p.30) 病態生理学 1章序論2項 身体の構造の障害と機能の乱れ (p.19)
			神経系	8	解剖生理学 8章 神経系 情報を収集して判断し、伝達するしくみ (p.342-395) 疾患⑤脳・神経 1章 脳・神経の構造と機能 (p.13-19)
			運動系	5	解剖生理学 2章 骨格・筋系 身体を支える・動かすしくみ (p.86-144) 疾患⑦運動器 1章 運動器の構造と機能 (p.16-24)
			感覚器系	2	解剖生理学 9章 感覚器系 外部から情報を取り入れるしくみ (p.400-435) 疾患⑥眼／耳鼻咽喉／歯・口腔／皮膚 1章 眼の構造と機能 (p.18-23) / 17章 耳鼻咽喉の構造と機能 (p.136-142) / 29章 歯・口腔の構造と機能 (p.256-261) / 39章 皮膚の構造と機能 (p.358-361)
			循環器系	9	解剖生理学 3章 血液・循環器系 物質を運搬するしくみ (p.173-205) 病態生理学 1章7節1項 循環器系の役割 (p.87) 疾患②循環器 1章 循環器の構造と機能 (p.12-16)
			血液、体液	5	解剖生理学 3章 血液・循環器系 物質を運搬するしくみ (p.154-172) / 5章 体液 体内の水分を調節するしくみ (p.256-265) 病態生理学 1章8節1項 体液とは (p.96) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 1章 血液の組成と機能 (p.16-17)
			免疫系	3	解剖生理学 10章 皮膚と膜・免疫系／体温調節 生体を守るしくみ (p.464-487) 病態生理学 1章5節2項 免疫機構 (p.67-68) 臨床微生物・医動物 2章2節 感染防御機構の基礎 (p.43-50) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 10章 免疫に関わる細胞や器官 (p.172-175)
			呼吸器系	1	解剖生理学 4章 呼吸器系 酸素を取り入れて、二酸化炭素を排出するしくみ (p.210-253) 疾患①呼吸器 1章 呼吸器の構造と機能 (p.12-19)
			消化器系	6	解剖生理学 7章 消化器系 食物を摂取して消化・吸収し排泄するしくみ (p.292-338) 疾患③消化器 1章 消化器の構造と機能 (p.14-24) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 24章3節 糖質・脂質・タンパク質の代謝 (p.290-292)
			栄養と代謝系	2	臨床生化学 1章1節 代謝とは (p.28-31), 2節 代謝とその制御 (p.31-32) / 3章 さまざまな代謝 (p.46-123) / 4章1節 臓器間の代謝のつながり (p.128-130) 疾患③消化器 1章6節 肝臓の構造と機能 (p.22)
			泌尿器系	3	解剖生理学 6章 泌尿器系 尿を作るしくみ (p.268-289) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 13章1節 尿路の構造と機能 (p.132-133)
			体温調節	3	解剖生理学 10章7節 体熱産生と体温 (p.488-496) 病態生理学 3章7節 高体温・低体温 (p.300-302)

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所	
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	54	体温調節	3	疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 34章1節 ②感染症による高体温 (p.459-461)	
			内分泌系	3	解剖生理学 11章 内分泌系 内部の環境を整えるしくみ (p.504-535) 臨床生化学 1章3節 細胞間の情報伝達と代謝の調節 (p.32-36) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 24章1節 内分泌のしくみと主なホルモン (p.278-279), 2節 主なホルモンの分泌と作用 (p.280-289)	
			性と生殖器官	0	解剖生理学 12章1節 女性生殖器 (p.544-561), 2節 男性生殖器 (p.574-581) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章1節 女性の生殖器 (p.138-142), 2節 男性の生殖器 (p.142-143), 3節 ヒトの発生・性分化 (p.144-146) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 13章2節 男性生殖器の構造と機能 (p.134) 疾患⑨女性生殖器 1章 女性生殖器の構造と機能 (p.12-19)	
			妊娠・分娩・産褥の経過	4	解剖生理学 12章1節5項 妊娠と出産 (p.562-571) 母性看護の実践 2章2節4項 妊娠の生理 (妊娠に伴う母体の変化) (p.41-47) / 4章2節3項 分娩の経過 (p.140-146) / 6章3節 産褥の生理 (p.217-225)	
			遺伝	0	臨床生化学 3-4章1節 核酸とヌクレオチド (p.113-118) / 6章 遺伝情報 (p.143-161) 病態生理学 1章1節1項 遺伝学の基礎 (p.24-28)	
	B 人間の死	6	死の三徴候	2	病態生理学 1章序論3項 人間の死 (p.21) 基礎看護技術Ⅱ 16章5節2項 臨終後の身体的変化 (p.482-483) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 2章2節3項 plus a 「死の三徴候」 (p.97) 緩和ケア 8章5節2項 死亡の確認と死亡診断書 (p.294-295)	
			死亡判定	0	基礎看護技術Ⅱ 16章5節2項 臨終後の身体的変化 (p.482-483) 緩和ケア 8章5節2項 死亡の確認と死亡診断書 (p.294-295)	
			脳死	4	病態生理学 1章序論3項 人間の死 (p.21-23) 緩和ケア 8章5節2項 コラム「脳死の判定」 (p.295) 疾患⑤脳・神経 2章1節 ①意識障害とは (p.24-25)	
	11 徴候と疾患	A 主要な症状と徴候	46	意識障害	2	病態生理学 3章21節 意識障害 (p.338-340) 疾患⑤脳・神経 2章1節 意識障害 (p.20-29)
				嚥下障害	1	病態生理学 3章36節 摂食嚥下障害 (p.382-384) 緩和ケア 2章4節3項 嚥下困難の治療と看護 (p.103-105) 高齢者看護の実践 1章3節1項 高齢者の摂食嚥下障害の背景と特徴 (p.32-36)
言語障害				0	疾患⑤脳・神経 2章2節 ⑤失語とは (p.34-37)	
ショック				2	病態生理学 3章20節 ショック (p.336-337) 疾患②循環器 2章8節 ショック (p.42-49) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 11章2節5項 循環器症状 (ショック) (p.189-190) 臨床薬理学 3章1節6項 コラム「アナフィラキシーショックのメカニズム」 (p.92)	
高体温、低体温				1	病態生理学 3章7節 高体温・低体温 (p.300-302) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 34章 体温調節機能障害 (p.459-465)	
脱水				0	病態生理学 3章16節 脱水 (p.325-326) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 2章2節 脱水 (p.20-22) 高齢者看護の実践 6章4節1項 高齢者の脱水症の背景と特徴 (p.139-143)	
黄疸				2	病態生理学 3章41節 黄疸 (p.395-397) 疾患③消化器 2章9節 黄疸 (p.53-57)	
頭痛				0	病態生理学 3章2節 頭痛 (p.289-290) 疾患⑤脳・神経 2章6節 頭痛 (p.58-60)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論
在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
11 徴候と疾患	A 主要な症状と 徴候	46	咳嗽、喀痰	1	病態生理学 3章26節 咳嗽・喀痰・咯血 (p.350-353) 疾患①呼吸器 2章4節 咳嗽(咳)／喀痰(痰) (p.28-31)
			吐血、咯血	3	病態生理学 3章26節 咳嗽・喀痰・咯血 (p.350-353), 37節 吐血 (p.385-387) 疾患①呼吸器 2章5節 咯血／血痰 (p.31-32) 疾患③消化器 2章6節 吐血・下血 (p.42-46)
			チアノーゼ	2	病態生理学 3章27節 チアノーゼ (p.354-356) 疾患①呼吸器 2章8節 チアノーゼ (p.34-35) 疾患②循環器 2章6節 チアノーゼ (p.36-38)
			呼吸困難	2	病態生理学 3章25節 呼吸困難 (p.347-349) 緩和ケア 2章5節 呼吸困難の治療と看護 (p.114-122) 疾患①呼吸器 2章2節 呼吸困難(息切れ) (p.22-26) 疾患②循環器 2章4節 呼吸困難 (p.29-33)
			胸痛	2	病態生理学 3章3節 胸痛 (p.291-293) 疾患①呼吸器 2章3節 胸痛 (p.26-28) 疾患②循環器 2章2節1項 胸痛(胸部圧迫感) (p.19-23)
			不整脈	4	病態生理学 3章28節 不整脈 (p.357-359) 疾患②循環器 9章 刺激伝導系の障害 (p.212)
			腹痛、腹部膨満	1	病態生理学 3章4節 腹痛 (p.294-295), 35節 腹部膨満 (p.380-381) 疾患②循環器 2章2節3項 腹痛 (p.24-25) 疾患③消化器 2章7節 腹痛 (p.46-50), 8節 腹部膨満 (p.50-53) 疾患⑨女性生殖器 2章4節 ①種類・考えられる疾患 (p.25-26), 5節 ①種類・考えられる疾患 (p.27)
			悪心、嘔吐	1	病態生理学 3章12節 悪心、嘔吐 (p.315-317) 疾患③消化器 2章4節 悪心・嘔吐 (p.36-40) 緩和ケア 2章4節1項 悪心・嘔吐の治療と看護 (p.96-100)
			下痢	2	病態生理学 3章39節 下痢 (p.390-392) 疾患③消化器 2章10節 下痢 (p.57-59)
			便秘	1	病態生理学 3章40節 便秘 (p.393-394) 疾患③消化器 2章11節 便秘 (p.60-63) 緩和ケア 2章4節4項 便秘の治療と看護 (p.105-108)
			下血	3	病態生理学 3章38節 下血 (p.388-389) 疾患③消化器 2章6節 吐血・下血 (p.42-45)
			乏尿、無尿、 頻尿、多尿	3	病態生理学 3章17節 尿量異常(乏尿・無尿、多尿), 排尿回数 の異常(頻尿) (p.327-328) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 2章1節 尿量の異常 (p.19-20)／14章1節 ③排尿に関する症状 (p.137-140) 疾患⑨女性生殖器 2章7節 ①定義・種類 (p.30-31), ②考えら れる疾患 (p.31) 緩和ケア 2章7節1項 下部尿路症状の治療と看護 (p.131-135), 3項 乏尿・無尿の治療と看護 (p.137-138)
			浮腫	2	病態生理学 3章15節 浮腫 (p.322-324) 疾患②循環器 2章5節 浮腫 (p.33-35) 緩和ケア 2章6節 リンパ浮腫の治療と看護 (p.123-130)
			貧血	4	病態生理学 3章29節 貧血 (p.360-363) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 2章1節 貧血 (p.19-24)／5章 貧血 (p.92-105)
			睡眠障害	0	病態生理学 3章9節 睡眠障害 (p.305-307) 緩和ケア 3章5節 不眠の治療と看護 (p.187-193) 高齢者看護の実践 4章2節 睡眠障害 (p.92-97) 精神障害と看護の実践 1章11節 睡眠－覚醒障害 (p.82-89)
感覚過敏・鈍麻	1	病態生理学 3章31節 感覚過敏、感覚鈍麻 (p.367-370), 32節 しびれ (p.371-373) 疾患⑤脳・神経 2章5節 感覚異常 (p.55-58)			
運動麻痺	3	病態生理学 3章33節 運動麻痺、運動失調 (p.374-377) 疾患⑤脳・神経 2章4節 ①運動麻痺とは (p.44-47) 疾患⑦運動器 2章5節 麻痺 (p.32-33)			

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所	
11 徴候と疾患	A 主要な症状と徴候	46	けいれん	1	病態生理学 3章26節 けいれん (p.341-342) 小児の発達と看護 3章2節3項 けいれん時のアセスメントと看護 (p.217-219) 疾患⑤脳・神経 2章4節 ⑦けいれんとは (p.52-53)	
			B 主要な疾患による健康障害	19	生活習慣病	5
	がん	3	病態生理学 1章3節 腫瘍 (p.49-57) 緩和ケア 2章1節 身体症状概論 (p.58-61), 2節 疼痛の治療と看護 (p.62-90)			
	感染症	8	臨床微生物・医動物 2章1節 感染症と臨床微生物・医動物 (p.38-43)/3章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 (p.51-133)/4章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 (p.135-218) 疾患④血液/アレルギー・膠原病/感染症 18章 感染症の定義と炎症の4徴候 (p.310-322)			
	精神疾患	2	精神障害と看護の実践 1章 精神症状と精神疾患 (p.19-113)			
	小児の疾患	0	小児の疾患と看護 1章 新生児疾患と看護 (p.19-60)/2章 先天異常と看護 (p.61-86)/3章 代謝疾患と看護 (p.87-100)/4章 内分泌疾患と看護 (p.101-118)/5章 アレルギー疾患と看護 (p.119-132)/6章 免疫・リウマチ性疾患と看護 (p.133-146)/7章 感染症と看護 (p.147-182)/8章 呼吸器疾患と看護 (p.183-196)/9章 循環器疾患と看護 (p.197-211)/10章 消化器疾患と看護 (p.213-261)/11章 腎・泌尿器・生殖器疾患と看護 (p.263-292)/12章 血液疾患と看護 (p.293-306)/13章 腫瘍性疾患と看護 (p.307-321)/14章 神経系疾患と看護 (p.323-355)/15章 運動器疾患と看護 (p.357-375)/16章 神経発達症・心身医学的問題と看護 (p.377-402)/17章 眼疾患と看護 (p.403-423)/18章 耳鼻咽喉疾患と看護 (p.425-452)/19章 皮膚疾患と看護 (p.453-468)			
	高齢者の疾患	1	高齢者の健康と障害 4章5節1項 高齢者に起こりやすい疾患の特徴 (p.249-250), 2項 高齢者に起こりやすい疾患の病態 (p.250-265) 高齢者看護の実践 9章 呼吸・循環機能障害と看護 (p.175-205)/13章 その他高齢者に特徴的な症候・疾患・障害と看護 (p.235-253)/14章1節 認知症の病態と要因 (p.256-260) 疾患⑨女性生殖器 12章2節 老年期の疾患 (p.293-297)			
	C 基本的な臨床検査値の評価	6	血液学検査	1	疾患④血液/アレルギー・膠原病/感染症 3章2節 末梢血検査 (p.44-46) 解剖生理学 3章1節3項 血液の成分 (p.156-158)	
			血液生化学検査	4	疾患④血液/アレルギー・膠原病/感染症 3章2節 末梢血検査 (p.44-46)	
			免疫血清学検査	1	疾患④血液/アレルギー・膠原病/感染症 19章4節 血清学的診断法 (p.334-335)	
			尿検査	0	疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 3章2節 尿検査 (p.34-37)	
	12 薬物の作用とその管理	A 主な薬物の効果と副作用(有害事象)	21	抗感染症薬	2	臨床薬理学 2章 感染症に使用する薬 (p.61-86) 臨床微生物・医動物 6章2節1項 抗感染症薬 (p.257-264)
				抗がん薬	2	臨床薬理学 4章 がん使用する薬 (p.111-140) 緩和ケア 2章8節2項 がん薬物療法に伴う苦痛の緩和 (p.139-146)
強心薬、抗不整脈薬				1	臨床薬理学 7章4節 不整脈 (p.196-199)/14章3節1項 循環改善のために使用する薬 (p.318) 疾患②循環器 4章1節4項 心筋の収縮を強める薬 (p.97-98), 5項 心拍数を下げる薬 (p.98), 6項 心拍の乱れを整える薬 (p.98-99)	
狭心症治療薬				2	臨床薬理学 7章5節 狭心症 (p.199-200) 疾患②循環器 4章1節2項 冠血流を改善する薬 (p.93-94)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論/地域在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
12 薬物の作用と その管理	A 主な薬物の効果と副作用 (有害事象)	21	抗血栓薬	2	臨床薬理学 7章7節 心筋梗塞 (p.203-205) 疾患②循環器 4章1節7項 血栓をできにくくする薬 (p.99-101)
			降圧薬、昇圧薬	2	臨床薬理学 7章2節 高血圧 (p.190-195), 3節 低血圧 (p.195-196) 疾患②循環器 4章1節1項 ①降圧薬 (p.92), 3項 心臓の負担を軽くする薬 (p.94-96)
			利尿薬	1	臨床薬理学 7章2節 高血圧 (p.190-195)
			消化性潰瘍治療薬	0	臨床薬理学 11章2節1項 消化性潰瘍治療薬 (p.265-271) 疾患③消化器 4章5節 薬物療法 (p.142-144)
			下剤、止痢薬	0	臨床薬理学 11章2節5項 瀉下薬 (下剤) (p.276-281), 6項 止瀉薬 (p.282-284) 疾患③消化器 4章5節 薬物療法 (p.142-149)
			抗アレルギー薬	0	臨床薬理学 3章4節1項 抗アレルギー薬 (p.105) / 10章2節3項 主な治療薬 (p.256)
			免疫療法薬	0	臨床薬理学 4章2節3項 免疫チェックポイント阻害薬 (p.122-123)
			副腎皮質ステロイド薬	2	臨床薬理学 3章3節1項 ステロイド (p.100) / 10章2節3項 主な治療薬 (p.254-255) 緩和ケア 2章3節4項 全身倦怠感の治療と看護 (p.94)
			糖尿病治療薬	1	臨床薬理学 9章1節3項 糖尿病治療薬 (p.222-230) セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療 (p.116-117) 疾患②循環器 4章1節1項 ③糖尿病治療薬 (p.93) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 32章4節4項 薬物療法 (p.410-419)
			中枢神経作用薬	1	臨床薬理学 6章1節 中枢神経系の働きと薬 (p.154), 2節 抗てんかん薬 (p.154-159), 3節 パーキンソン病治療薬 (p.159-166) / 10章3節 鎮咳薬 (p.257-259) / 11章2節3項 制吐薬, 鎮吐薬 (p.272-276)
	麻薬	2	臨床薬理学 1章1節1項 法規による医薬品の分類 (p.23-24) / 4章4節1項 WHOがん疼痛ガイドライン (p.136-139) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章1節4項 苦痛緩和の方法 (p.75-77) 緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療と看護 (p.72-85), 4項 がん疼痛を有する患者の看護 (p.85-90)		
	消炎鎮痛薬	1	臨床薬理学 3章2節1項 関節リウマチ治療薬 (p.93-99) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章1節4項 苦痛緩和の方法 (p.75-77) 緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療と看護 (p.74)		
	B 薬物の管理	6	禁忌	3	臨床薬理学 1章4節2項 医薬品の情報 (p.51)
保存・管理方法			2	臨床薬理学 1章4節3項 医薬品の管理 (p.55-56)	
薬理効果に影響する要因			0	臨床薬理学 1章3節3項 薬物相互作用 (p.35-36) 基礎看護技術II 13章3節5項 薬効に影響を与えるもの (p.363)	

目標IV 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
13 看護における 基本技術	A コミュニケーション	3	言語的コミュニケーション	0	看護学概論 7章1節4項 コミュニケーションのタイプ (p.187) 基礎看護技術I 1章1節6項 言語的コミュニケーション (p.29-30) セルフマネジメント 3-4章2節2項 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション (p.82) 緩和ケア 6章1節1項 コミュニケーションとは (p.234) 小児看護技術 1章1節2項 援助関係を形成していく上で重要なコミュニケーション (p.17-20)
			非言語的コミュニケーション	0	看護学概論 7章1節4項 コミュニケーションのタイプ (p.187-188) 基礎看護技術I 1章1節7項 非言語的コミュニケーション (p.31-35) セルフマネジメント 3-4章2節2項 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション (p.82-83) 緩和ケア 6章1節1項 コミュニケーションとは (p.234)

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
13 看護における 基本技術	A コミュニケー ション	3	非言語的コミュ ニケーション	0	小児看護技術 1章1節2項 援助関係を形成していく上で重要なコ ミュニケーション (p.17-20)
			面接技法	3	看護学概論 7章3節3項 カウンセラーとしての役割 (p.192-193) 基礎看護技術I 1章3節2項 ロールプレイ (p.41) 緩和ケア 6章1節3項 基本的なコミュニケーション (p.235-237) 小児看護技術 1章2節 子どもとの援助関係を形成する技術 (p.21-23)
	B 看護過程	4	情報収集、 アセスメント	2	看護学概論 8章1節3項 看護過程：五つのステップの順序と定義 (p.199-200)、2節1項 看護過程展開のための主要な概念を正確 に理解する (p.201-203) 基礎看護技術I 2章2節 情報の収集 (p.76-79)、3節 アッセメ ント (p.79-94) リハビリテーション看護 6章1節 アセスメントの枠組み (p.126- 137)／7章1節1項 アセスメント (p.150-152)、2節1項 アッセメ ント (p.161-162)、3節1項 アセスメント (p.166-168)、4節1項 アセスメント (p.175-177)、5節1項 アセスメント (p.184-186)、6 節3項 急性期：入院1日目のケア (p.196-197)、4項 急性期：入 院2日目以降のケア (p.197-198)、5項 急性期：入院後1週間以 降のケア (p.201-202)、6項 回復期におけるケア (p.204-205)
			計画立案	0	看護学概論 8章2節1項 看護過程展開のための主要な概念を正 確に理解する (p.201) 基礎看護技術I 2章5節 看護計画 (p.95-97) リハビリテーション看護 6章2節2項 援助計画の立案と実施 (p.145-146)／7章1節2項 介入計画 (p.152)、2節2項 介入計画 (p.163)、3節2項 介入計画 (p.168)、4節2項 介入計画 (p.177)、 5節2項 介入計画 (p.187-188)、6節3項 急性期：入院1日目のケ ア (p.196)、4項 急性期：入院2日目以降のケア (p.199)、5項 急性期：入院後1週間以降のケア (p.202)、6項 回復期における ケア (p.205-207)
			実施	0	看護学概論 8章1節3項 看護過程：五つのステップの順序と定義 (p.199-200)、2節 看護実践における看護過程の展開 (p.201- 204) 基礎看護技術I 2章6節 実施 (p.98) リハビリテーション看護 6章2節2項 援助計画の立案と実施 (p.146)／7章1節3項 看護の実践 (p.152-159)、2節3項 看護の 実践 (p.163-165)、3節3項 看護の実践 (p.169-174)、4節3項 看護の実践 (p.177-181)、5節3項 看護の実践 (p.188-190)、6 節3項 急性期：入院1日目のケア (p.196-197)、4項 急性期：入 院2日目以降のケア (p.199-201)、5項 急性期：入院後1週間以 降のケア (p.202-203)、6項 回復期におけるケア (p.207-208)
			評価	0	看護学概論 8章1節3項 看護過程：五つのステップの順序と定義 (p.199-200) 基礎看護技術I 2章7節 評価 (p.98) リハビリテーション看護 6章2節3項 援助の評価 (p.147)／7章 1節4項 事例からの学び (p.159)、2節4項 事例からの学び (p.165)、3節4項 事例からの学び (p.174)、4節4項 事例からの 学び (p.181)、5節4項 事例からの学び (p.190-192)、6節3項 急性期：入院1日目のケア (p.196-197)、4項 急性期：入院2日目 以降のケア (p.199-201)、5項 急性期：入院後1週間以降のケア (p.202-203)、6項 回復期におけるケア (p.207-208)
			バイタルサイ ンの観察	4	基礎看護技術I 4章5節 バイタルサインの測定 (p.145-167) 小児看護技術 9章1節 バイタルサインの測定 (p.206-221)
	意識レベルの 評価	3	基礎看護技術I 4章5節1項 バイタルサインとは (p.145-149) 病態生理学 3章21節 意識障害 (p.338-340) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.175- 176)		
	呼吸状態の観察	3	基礎看護技術I 4章4節8項 聴診の実践 (p.143-144)、5節1 項 バイタルサインとは (p.150-152)／5章7節2項 肺の間診および 視診、触診、打診、聴診 (p.221-226) 小児看護技術 9章1節1項 呼吸測定 (p.206-210)		
	腸蠕動音聴取	0	基礎看護技術I 5章10節2項 腹部 (消化器系) の間診および視 診、聴診、打診、触診 (p.267-268)		
	運動機能の観察	0	基礎看護技術I 5章12節 筋・骨格系のアセスメント (p.291-304)		
	C フィジカルア セスメント	12			

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと
回復の促進

健康支援と
社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論
在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
14 日常生活援助 技術	A 食事	6	食事の環境整備、食事介助	3	基礎看護技術Ⅱ 5章5節2項 経口摂取の援助 (p.165-169) 在宅療養を支える技術 4章1節4項 食における援助の技術と実際 (p.107-111) 小児看護技術 2章1節2項 空間 (p.34) / 3章1節 子どもへの食事援助の実際 (p.60-72), 2節5項 食べる機能に障害のある子どもへの援助 (p.90-91)
			誤嚥の予防	2	基礎看護技術Ⅱ 3章2節6項 誤嚥・窒息の予防策 (p.96-97) / 5章5節2項 経口摂取の援助 (p.167) 臨床栄養学 4章3節 嚥下障害のある人のための食事 (p.153-159) 小児看護技術 2章4節4項 その他の事故防止: 誤飲・誤嚥, 外傷, 窒息など (p.53) 医療安全 5章6節 誤嚥: 分析と対策 (p.172-173)
	B 排泄	9	排泄の援助 (床上、トイレ、ポータブルトイレ、おむつ)	1	基礎看護技術Ⅱ 6章5節1項 床上での排尿・排便の援助 (p.183-186), 2項 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助 (p.187-189), 3項 ポータブルトイレ, トイレでの援助 (p.189-190) 小児看護技術 4章1節 おむつ交換 (p.96-100), 2節 排泄行動自立への援助 (p.100-102)
			導尿	2	基礎看護技術Ⅱ 6章5節6項 導尿 (p.194-197) 小児看護技術 4章4節 導尿 (CIC) (p.105-106)
			浣腸	4	基礎看護技術Ⅱ 6章5節7項 浣腸 (p.198-199) 小児看護技術 4章3節 浣腸 (p.103-104)
			摘便	0	基礎看護技術Ⅱ 6章5節8項 摘便 (p.200-201) 在宅療養を支える技術 4章2節4項 排泄援助の技術と実際 (p.118)
			失禁のケア	2	基礎看護技術Ⅱ 6章5節2項 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助 (p.187-189)
	C 活動と休息	8	体位、体位変換	2	基礎看護技術Ⅱ 2章3節1項 体位変換および体位保持 (p.47), 4節 安楽な体位 (p.51-61) / 7章5節1項 体位変換 (p.212-219) 小児看護技術 10章1節 安楽な体位 (p.250-252)
			移動、移送	2	基礎看護技術Ⅱ 7章5節3項 立位と歩行 (p.224-228), 4項 移動・移送 (p.229-237)
			ボディメカニクス	2	基礎看護技術Ⅱ 3章3節1項 ボディメカニクス (p.97-106)
			廃用症候群の予防	1	基礎看護技術Ⅱ 7章1節 活動・運動の意義 (p.204), 3節 図7-6「活動・運動のニーズを充足させるためのフローチャート」 (p.211) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.89-91)
			睡眠	0	基礎看護技術Ⅱ 8章1節2項 睡眠 (p.240-241), 2節3項 睡眠の分類と役割 (p.242-244), 4項 睡眠の調節 (p.244-246), 5項 睡眠の多様性 (p.246-247), 3節2項 睡眠のニーズ (p.248-249), 4節2項 睡眠 (p.249-251), 5節2項 睡眠の援助技術 (p.253) 高齢者看護の実践 4章2節 睡眠障害 (p.92-101) 小児看護技術 2章3節 睡眠と休息に適した環境づくり (p.43-48)
	D 清潔	14	入浴、シャワー浴	2	基礎看護技術Ⅱ 9章8節4項 入浴・シャワー浴の介助 (p.270-271) 在宅療養を支える技術 4章3節4項 清潔ケアの技術と実際 (p.125) 小児看護技術 5章2節 入浴 (p.116-119)
			清拭	2	基礎看護技術Ⅱ 9章8節7項 全身清拭 (p.276-279) 在宅療養を支える技術 4章3節4項 清潔ケアの技術と実際 (p.125) 小児看護技術 5章3節 清拭 (p.119-121)
			口腔ケア	2	基礎看護技術Ⅱ 9章8節3項 口腔ケア (p.266-270) 在宅療養を支える技術 4章3節4項 清潔ケアの技術と実際 (p.127) 小児看護技術 5章5節 口腔ケア (p.123-127)

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
14 日常生活援助 技術	D 清潔	14	洗髪	2	基礎看護技術Ⅱ 9章8節6項 洗髪 (p.272-275) 在宅療養を支える技術 4章3節4項 清潔ケアの技術と実際 (p.126) 小児看護技術 5章4節 洗髪 (p.122-123)
			手浴、足浴	2	基礎看護技術Ⅱ 9章8節5項 部分浴 (手浴・足浴) (p.272-273) 在宅療養を支える技術 4章3節4項 清潔ケアの技術と実際 (p.126)
			陰部洗浄	1	基礎看護技術Ⅱ 9章8節8項 陰部洗浄 (p.279-281) 小児看護技術 5章1節 沐浴 (p.115), 3節 清拭 (p.121)
			整容	0	基礎看護技術Ⅱ 9章8節2項 整容 (p.266) 小児看護技術 5章1節 沐浴 (p.115)
			寝衣交換	3	基礎看護技術Ⅱ 9章5節9項 寝衣交換 (p.281-285) 小児看護技術 5章6節 衣服の交換 (p.128-131)
15 患者の安全・ 安楽を守る看 護技術	A 療養環境	6	病室環境	4	基礎看護技術Ⅱ 1章2節 環境を整える技術 (p.30-39), 3節 療養環境のアセスメント (p.39-40) 小児看護技術 2章1節 子どもの視点に立った病院の物理的環境づくり (p.32-36), 3節 睡眠と休息に適した環境づくり (p.43-48) 医療安全 8章4節1項 環境調整技術に伴うリスクと安全 (p.256-257)
			共有スペース	0	基礎看護技術Ⅱ 1章2節1項 快適さを保つ構造：プライバシーを保つアメニティ (p.30-33), 2項 病床の環境と病床の整備 (p.33-35) 小児看護技術 2章1節 子どもの視点に立った病院の物理的環境づくり (p.32-36)
			居住スペース	0	基礎看護技術Ⅱ 1章2節 環境を整える技術 (p.30-39), 3節 療養環境のアセスメント (p.39-40) 小児看護技術 2章1節 子どもの視点に立った病院の物理的環境づくり (p.32-36), 2節3項 発達段階に応じた生活環境の調整とセルフケア力を高める環境づくり (p.40-42)
	B 医療安全対策	4	転倒・転落の 防止	3	基礎看護技術Ⅱ 3章2節2項 転倒・転落の予防策 (p.90-91) 医療安全 5章5節 転倒転落：分析と対策 (p.161-171)／6章2節3項 在宅看護における介護事故とその対応 (p.201-202), 3節2項 表6.3-2 在宅で起こりうる事故の要因と対策 (p.207-208)／8章4節1項 環境調整技術に伴うリスクと安全 (p.256-257) 在宅療養を支える技術 3章3節4項 住環境整備 (p.88) 小児看護技術 2章4節2項 転倒を防止する環境づくり (p.49), 3項 転落を防止する環境づくり (p.50-52)
			誤薬の防止	0	基礎看護技術Ⅱ 3章2節5項 誤薬の予防策 (p.94-95)／13章4節1項 安全で確実な与薬のための知識・技術・態度 (p.366) 医療安全 5章2節 誤薬と与薬事故：分析と対策 (p.143-155)／6章2節2項 在宅看護における医療事故と対応 (p.200-201) 臨床薬理学 1章4節1項 処方から投与まで (p.43-51)
			患者誤認の防止	1	基礎看護技術Ⅱ 3章2節4項 患者誤認の予防策 (p.94-95) 医療安全 5章3節 患者取り違い (誤認)：分析と対策 (p.157-158) 周術期看護 5章2節1項 患者確認 (p.94-95)
			誤嚥・窒息の 防止	0	基礎看護技術Ⅱ 3章2節6項 誤嚥・窒息の予防策 (p.95-97) 医療安全 5章6節 誤嚥：分析と対策 (p.172-173) 在宅療養を支える技術 4章1節4項 食における援助の技術と実際 (p.108) 小児看護技術 2章4節4項 その他の事故防止：誤飲・誤嚥、外傷、窒息など (p.53)
			コミュニケー ションエラー の防止	0	基礎看護技術Ⅱ 3章1節3項 安全管理対策 (p.88-90) 医療安全 5章1節2項 人と人とのコミュニケーション (p.141-142), 12節 電子カルテ等情報伝達時のトラブル：分析と対策 (p.191) 看護管理 2章4節 チームの一員に求められる協働のための行動 (p.54-60)
	C 感染防止対策	15	標準予防策 (スタンダードプ リコーション)	3	基礎看護技術Ⅱ 4章4節1項 スタンダードプリコーション (標準予 防策) (p.124-125) 臨床微生物・医動物 2章1節2項 感染成立の3 要因と感染予防 の基本 (p.42) 在宅療養を支える技術 3章5節2項 日常的なケア (平常時) (p.95-96) 医療安全 7章3節1項 標準予防策 (スタンダードプリコーション) (p.219-221)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と
社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論
在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
15 患者の安全・ 安楽を守る看 護技術	C 感染防止対策	15	感染経路別予 防策	1	基礎看護技術Ⅱ 4章4節2項 感染経路別予防対策 (p.124-126) 臨床微生物・医動物 2章1節2項 感染成立の3 要因と感染予防 の基本 (p.42-43) 小児の発達と看護 3章7節3項 plus a「感染経路と防止策」 (p.294)
			手指衛生	1	基礎看護技術Ⅱ 4章5節1項 手指衛生 (p.126-128) 医療安全 7章3節1項 標準予防策 (スタンダードプリコーション) (p.220-221)
			必要な防護用 具(手袋、マ スク、ガウン、 ゴーグル)の 選択・着脱	2	基礎看護技術Ⅱ 4章2節 個人防護具の選択・着脱手順 (p.126- 130) 在宅療養を支える技術 3章5節3項 療養者に感染症が発症した 場合の対応 (p.98-100) 周術期看護 5章1節1項 構造・設備・感染管理 (p.90-92)
			無菌操作	3	基礎看護技術Ⅱ 4章5節3項 無菌操作 (p.131-134)
			滅菌と消毒	2	基礎看護技術Ⅱ 4章5節5項 滅菌と消毒 (p.137-139) 臨床微生物・医動物 5章2節 洗浄・消毒・滅菌と環境の清掃 (p.227-237) 臨床薬理学 2章2節7項 消毒薬 (p.83-86)
			針刺し・切創 の防止	1	基礎看護技術Ⅱ 3章3節2項 感染予防策 (p.107)／4章6節3項 医療事故の予防と事故後の対応 (p.142-143) 医療安全 5章4節 針刺し：分析と対策 (p.158-160)
			感染性廃棄物 の取り扱い	2	基礎看護技術Ⅱ 4章7節 医療廃棄物の取り扱い (p.143-145)／ 13章7節1項 感染予防 (医療廃棄物の取り扱い) (p.411-412) 臨床微生物・医動物 5章2節4項 感染性廃棄物の処理 (p.238) 看護をめぐる法と制度 6章9節4項 環境衛生に関する営業・建 物の衛生分野 (p.322) 医療安全 7章3節5項 廃棄物の適切な取り扱い (p.224-226)
16 診療に伴う看 護技術	A 栄養法	6	経管・経腸栄 養法	5	基礎看護技術Ⅱ 5章5節3項 経管栄養の援助 (p.169-173) 臨床栄養学 4章4節1項 経管栄養 (p.160-163) 在宅療養を支える技術 5章13節4項 援助の実際 (p.197-200) 小児看護技術 3章2節1項 経管栄養法 (p.72-77), 2項 胃瘻カ テーテルから栄養剤を注入する方法 (p.78-81) 医療安全 8章4節2項 食事の援助技術に伴うリスクと安全 (p.257-258)
			経静脈栄養法	1	基礎看護技術Ⅱ 5章5節4項 経静脈栄養法 (p.173-174) 臨床栄養学 4章4節2項 中心静脈栄養 (p.163-164) 在宅療養を支える技術 5章14節4項 援助の実際 (p.203-206) 小児看護技術 3章2節3項 中心静脈栄養法 (p.82-86)
	B 薬物療法	8	与薬方法	6	基礎看護技術Ⅱ 13章4節 与薬のための援助技術 (p.366- 375), 5節 注射のための援助技術 (p.375-403) 臨床薬理学 1章4節1項 処方から投与まで (p.43-51) 臨床看護総論 3章4節1項 薬物療法 (p.131-132) 小児看護技術 7章 与薬の技術 (p.151-167) 医療安全 8章4節8項 与薬の技術に伴うリスクと安全 (p.267- 268)
			薬効・副作用 (有害事象)の 観察	2	基礎看護技術Ⅱ 13章3節3項 薬物の主作用と副作用 (p.362- 363) 臨床薬理学 1章4節1項 処方から投与まで (p.43-51) 小児看護技術 6章3節 吸入 (p.143-144)／7章4節3項 静脈注 射 (p.161-162), 5節 輸液管理 (p.164)
	C 輸液・輸血管 理	8	刺入部位の観察	1	基礎看護技術Ⅱ 13章5節4項 注射の実際 (p.399-403), 6節 2項 輸血の実際 (p.408-410) 小児看護技術 7章4節1項 皮下注射 (p.159)
			点滴静脈内注射	2	基礎看護技術Ⅱ 13章5節4項 注射の実際 (p.395-396) 小児看護技術 7章5節 輸液管理 (p.162-164)
			輸血	2	基礎看護技術Ⅱ 13章6節 輸血のための援助技術 (p.403-410) 臨床薬理学 14章8節 輸血療法 (p.335-338) 医療安全 5章2節 コラム「輸血」(p.156)
	D 採血	7	刺入部位	2	基礎看護技術Ⅱ 14章3節8項 血液検査 (p.432-434) 小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.222)
			採血方法	5	基礎看護技術Ⅱ 14章3節8項 血液検査 (p.432-434) 小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.222-223)

大項目	中項目 (出題範囲)	出題 数※	小項目 (キーワード)	出題 数※	ナーシング・グラフィカ 単行本『家族看護学』該当箇所
16 診療に伴う看護技術	D 採血	7	採血後の観察内容、採血に関連する有害事象	0	基礎看護技術Ⅱ 14章3節8項 血液検査 (p.432-434) 小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.222-223)
			E 呼吸管理	10	酸素療法の原則
	酸素ポンペ	1			基礎看護技術Ⅱ 10章5節5項 酸素療法 (p.309-311) 疾患①呼吸器 4章1節 酸素療法 (p.62-69)
	酸素流量計	0			基礎看護技術Ⅱ 10章5節5項 酸素療法 (p.310-311)
	鼻腔カニューラ	0			基礎看護技術Ⅱ 10章5節5項 酸素療法 (p.304-305) 小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.135-136) 疾患①呼吸器 4章1節 ①酸素療法とは (p.62-63)
	酸素マスク	1			基礎看護技術Ⅱ 10章5節5項 酸素療法 (p.304-305) 小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.135-136) 疾患①呼吸器 4章1節 ①酸素療法とは (p.62-63)
	ネブライザー	0			基礎看護技術Ⅱ 10章5節3項 吸入療法 (p.301-302), 5項 酸素療法 (p.306) 小児看護技術 6章3節 吸入 (p.143-144) 疾患①呼吸器 4章3節 ②薬物療法の看護 (p.88)
	口腔内・鼻腔内吸引	3			基礎看護技術Ⅱ 14章4節3項 吸引 (p.443-446) 小児看護技術 6章2節1項 鼻腔・口腔の吸引 (p.137-139)
	気管内吸引	2			基礎看護技術Ⅱ 10章5節4項 吸引 (p.303) / 14章4節3項 吸引 (p.443-444) 小児看護技術 6章2節2項 気管吸引 (p.139-140)
	体位ドレナージ	1			基礎看護技術Ⅱ 10章5節2項 痰を喀出させる方法 (p.297-301) 小児看護技術 6章4節 体位ドレナージ (p.144-145) 疾患①呼吸器 6章3節 ②無気肺患者の看護 (p.127-128)
	F 救命救急処置	17	気道の確保	2	基礎看護技術Ⅱ 15章3節1項 心肺蘇生 (p.458, 460), 3項 気道異物除去 (p.462-463) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.177-178) 災害看護 5章4節1項 災害時の外傷初期診療 (p.113)
			人工呼吸	0	基礎看護技術Ⅱ 15章3節1項 心肺蘇生 (p.458-459) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.180-182)
			胸骨圧迫	4	基礎看護技術Ⅱ 15章3節1項 心肺蘇生 (p.456-458) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.178-180)
			直流除細動器	2	基礎看護技術Ⅱ 15章3節2項 除細動 (p.460-461)
			自動体外式除細動器 (AED)	2	基礎看護技術Ⅱ 15章3節2項 除細動 (p.460-461) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.182)
			止血法	1	基礎看護技術Ⅱ 15章4節 ファーストエイド (p.464-465) 災害看護 5章4節1項 災害時の外傷初期診療 (p.115), 2項 代用品を利用した応急処置 (p.116)
			トリアージ	4	基礎看護技術Ⅱ 15章2節 救急時における看護者の役割 (p.453-454) 看護学概論 12章3節7項 災害時に必要な知識と技術 (p.302-303) 災害看護 5章3節 トリアージ (p.108-112)
	G 皮膚・創傷の管理	7	創傷管理	2	基礎看護技術Ⅱ 12章3節 創傷の管理 (p.337-346) 臨床看護総論 3章4節4項 創傷処置 (p.133-134)
			褥瘡の予防・処置	4	基礎看護技術Ⅱ 12章4節 褥瘡の管理 (p.346-352) 在宅療養を支える技術 5章15節4項 援助の実際 (p.208-211)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論
地域在宅看護論

看護の統合と実践